



あじさい支援だより

2025.4

第28号

長崎県公安委員会指定 犯罪被害者等早期援助団体



公益社団法人 長崎犯罪被害者支援センター



「長崎犯罪被害者支援センターの活動に寄せて」

長崎県県民生活環境部

交通・地域安全課長 大嶋 誠之

「あじさい支援だより」御愛読の皆様におかれましては、平素から県行政の各般にわたり、御理解と御協力を賜っておりますことを厚く御礼申し上げます。

最初に、本県の被害者支援の現状について必要な情報を共有させていただきます。

令和6年度の長崎県犯罪被害者支援センターの相談等件数は、1月末時点で799件（前年同期比+57件）、うち県が業務委託している性暴力被害者支援「サポートながさき」の相談等は、638件（前年同期比+34件）です。実に、8割が不同意性交や不同意わいせつ等の性被害を訴えたものになっています。

内閣府の調査では、性被害を受けて実際に誰かに相談したという人は約40%で、私たちが考えている以上に実際に性被害を受けたという方は多いものと思われます。

サポートながさきの相談員の方にお聞きしたところ、最近の相談の特徴は、性暴力相談件数が増加傾向にあり、とりわけ低年齢者の相談が増えている、スマートフォンで性的な画像を撮られ、それを広げられないかという不安から相談に来る方も多いということでした。

先日、講話をお聞きした被害者遺族の男性は、SNSで知り合った男から当時20歳の次女を殺害され、その中で娘にSNSが使えるパソコンを購入してあげたことを後悔されており、「文字だけの世界（ネットだけでつながる世界）がどれだけ怖いか、（若い人たちに）伝えてください。」と実感を持って語っておられましたので、切実な苦悩を抱える犯罪被害者の方への支援の難しさと、被害者を出さないための性教育を始めとして防犯教育や人権教育の必要性を痛感した次第です。

このような被害者の方々と日々正面から向き合い、丁寧な説明や付き添い支援を行うなど真摯に支援を続けるセンター相談員の皆様には、御苦勞も多いことと存じますが、感謝の言葉しかありません。

今後、県といたしましても、犯罪被害者等が一日でも早く平穏な生活を取り戻せるよう、犯罪被害者支援センターを始めとした関係機関と連携を強化し、犯罪被害者等の方々に寄り添った支援を推進してまいりたいと考えておりますので、なお一層の御支援と御協力を賜りますようお願いいたします。

電話相談
秘密厳守
相談無料



犯罪被害全般 (095)-820-4977 (毎週月曜日～金曜日 9:30～17:00)

性暴力被害専用 (095)-895-8856 (毎週月曜日～金曜日 9:00～17:00)

性暴力被害専用：夜間休日はコールセンターにつながります。

性暴力
被害
専用

全国共通短縮ダイヤル #8891 (毎日24時間)

全国共通フリーダイヤル 0120-8891-77 (毎日24時間)

最寄りの性暴力ワンストップ支援センターまたはコールセンターにつながります。

全国共通ナビダイヤル 0570-783-554 (毎日(12/29～1/3を除く) 8:00～21:00)

令和6年度事業概要

■センター主催

総会	1	被害者支援員養成講座	12
理事会	2	被害者支援員継続研修	8
運営委員会	12	自助グループ開催	8

■広報啓発活動・講義

普及宣伝活動	4	学校講演事業	10
マスコミ関係広報	5	研修講義	8
広報誌・チラシ等作成	5		

■中学・高校生を対象とした巡回講演事業

実施校

年 度	中学校	高等学校	合 計	聴講者数
R 6 年度	6	4	10	2,443
R 5 年度	7	2	9	2,441

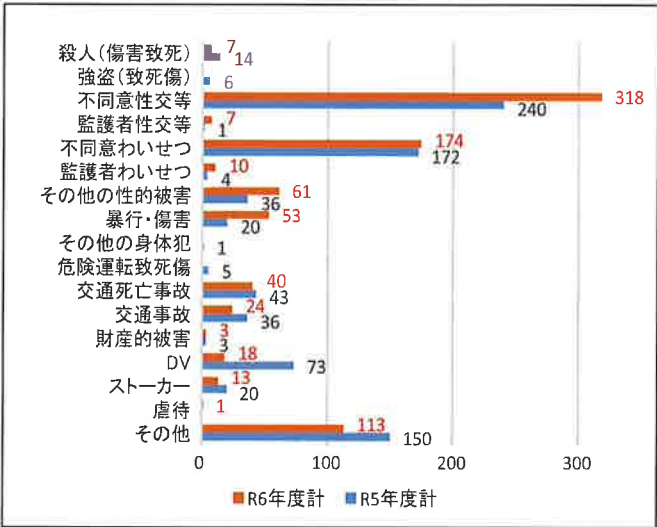
講 師

臨 床 心理士	セン ター 役 職 員	その他	計
—	7	6	13
1	4	7	12

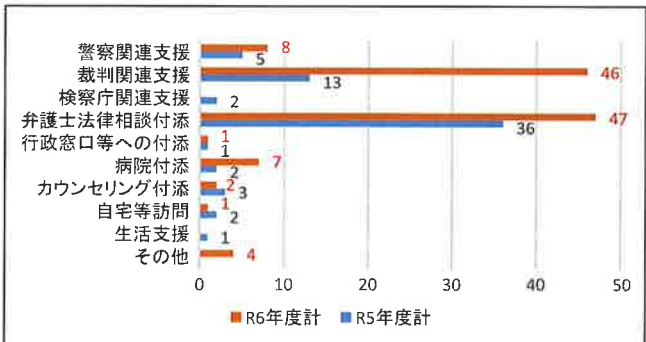
■相談・支援等（延べ件数）

相談・支援別件数 総数①		うち性暴力被害者支援		直接的支援の内容		被害類型（直接的支援）	
		相談・支援 件数②	性暴力割合 ② / ①				
電話等相談	773	635	82.1%	警 察 関 連 支 援	8	殺 人（傷害致死）	1
面 接 相 談	69	49	71.0%	裁 判 関 連 支 援	46	強 盗（致死傷）	2
直接的支援	116	87	75.0%	弁護士法律相談付添	47	不 同 意 性 交 等	50
計	958	771	80.5%	行政窓口等への付添	1	不 同 意 わ い せ つ	32
				病 院 付 添	7	監 護 者 わ い せ つ	1
				カウンセリング付添	2	その他の性的被害	4
				自 宅 等 訪 問	1	暴 行 傷 害	7
				そ の 他	4	危 険 運 転 致 死 傷	6
				計	116	交 通 死 亡 事 故	10
						交 通 事 故	3
						計	116

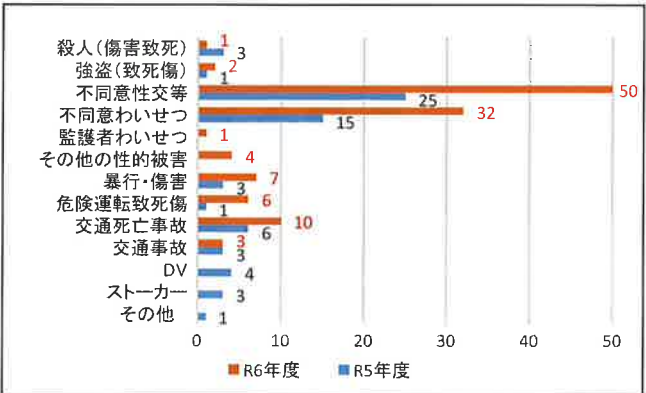
■相談活動（電話等・面接）内訳 842件



■直接的支援活動内訳 116件



■直接的支援活動の被害類型 116件

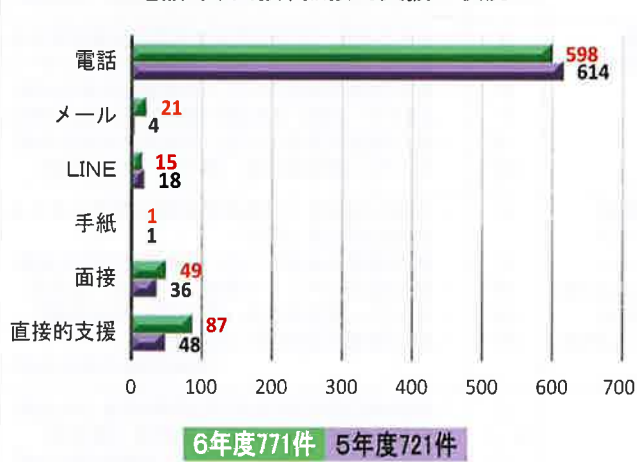


「サポートながさき」の相談概要 (令和6年度)

- 性暴力被害者支援の「専用窓口」
TEL 095-895-8856
- 相談受付(24時間受付) 9:00
～17:00まで。17:00以降は
コールセンターにつながります。
緊急の場合は【サポートながさき】
が対応します。

電話等、面接、 直接的支援	年度	電話	メール	LINE	手紙	面接	直接的 支援	計 (延べ件数)
サポートながさき	R6年度	598	21	15	1	49	87	771
	R5年度	614	4	18	1	36	48	721
センター計 (「サポートながさき」含む)	R6年度	732	25	15	1	69	116	958
	R5年度	743	7	18	1	55	65	889

電話等、面接、直接的支援の状況



相談の特徴 (令和6年4月～令和7年3月)

●相談・支援件数

【令和6年4月～令和7年3月】771件

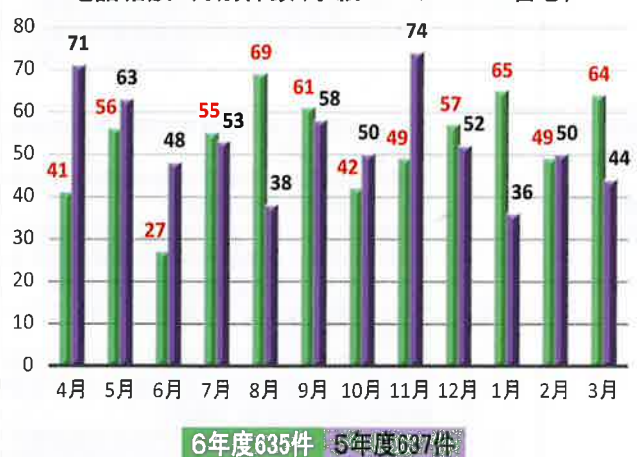
電話598件、メール21件、LINE15件、手紙1件、面接49件、直接的支援87件

●犯罪区分別相談・支援内容内訳 (771件)

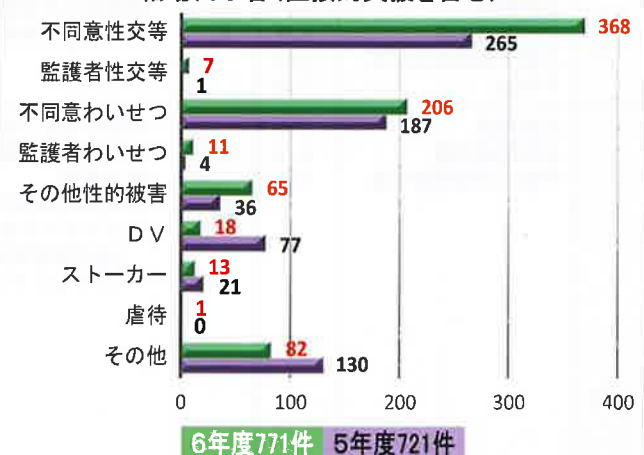
不同意性交等368件、監護者性交等7件、不同意わいせつ206件、監護者わいせつ11件、その他の性的被害65件、DV18件、ストーカー13件、虐待1件、その他82件であった。

- 1) 相談対応総数は771件で、前年同期比+50件(+6.9%)で、電話相談が598件で全体の77.6%を占めた。
- 2) 相談内容では不同意性交等(368件)が全体の47.7%を占めた。
- 3) 被害者の年齢別では10代までの被害者(340件)が全体の45.0%を占めた。
- 4) 新規相談の端緒(経路別)では、マスメディア2件、HP43件、リーフレット2件、警察提供29件、他機関からの紹介23件、その他18件、不明16件であった。

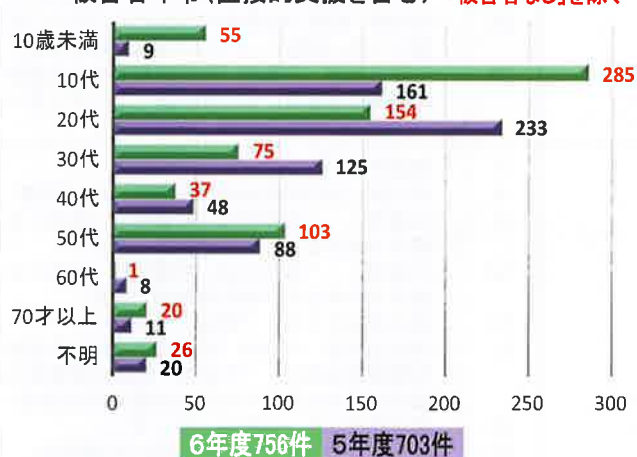
電話相談 月別件数(手紙・メール・LINE含む)



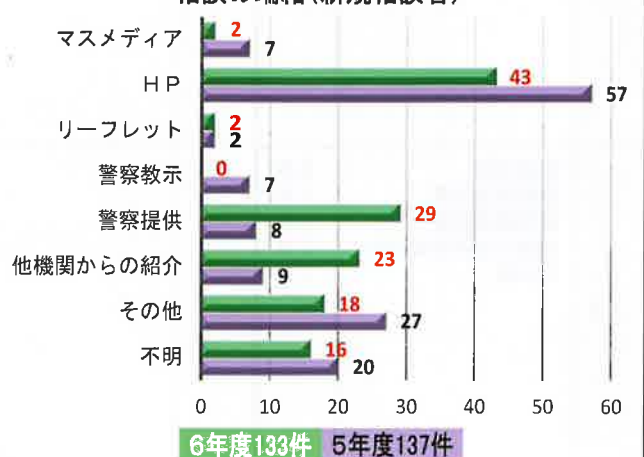
相談内容(直接的支援を含む)



被害者年齢(直接的支援を含む)「被害者なし」を除く



相談の端緒(新規相談者)



令和6年度(9月～3月) DIARY

月	主な支援活動	延べ数	日	講演・広報啓発	日	会議・研修・その他
9月	面接相談 裁判関連支援 弁護士法律相談付添 病院付添支援	8件 3件 3件 1件	4 13	・県警音楽隊プロムナード コンサートキャンペーン (JRかもめ広場) ・活水高校講演	9	・2024年度第1回県弁護士会犯罪被害者支援 研修会(Zoom開催)
					14	・第22期養成講座第7回(長崎県勤労福祉会館)
					19	・継続研修(長崎地方裁判所)
					20	・第4回自助グループ開催(センター)
					24	・センター運営委員会(第6回～Web会議)
					26	・「あじさい支援だより第27号」作成・配布
					28	・第22期養成講座第8回(長崎県勤労福祉会館)
					28	・継続研修(長崎県勤労福祉会館)
					28～29	・性暴力救援センター全国連絡会全国研修会(Web研修)
10月	面接相談 警察関連支援 裁判関連支援 弁護士法律相談付添	12件 1件 4件 10件	30	・長崎県警察初任科教養 (県警察学校)	3	・令和6年度「県南地区女性相談関係機関意見交 換会」(長崎こども・女性・障害者支援センター)
					5	・第22期養成講座第9回(長崎県勤労福祉会館)
					7	・自助グループ運営・連絡会議(警察庁主催)(Zoom開催)
					19	・第22期養成講座第10回(長崎県勤労福祉会館)
					22	・センター運営委員会(第7回～Web会議)
11月	面接相談 裁判関連支援 弁護士法律相談付添 病院付添支援 カウンセリング付添 その他	5件 4件 2件 1件 1件 1件	15 19 24 29	・長崎工業高校定時制講演 ・県警音楽隊プロムナード コンサートキャンペーン (JRかもめ広場) ・犯罪被害者等支援講演会 (ホテルセントヒル長崎) ・清水中学校講演	8	・令和6年度第1回長崎県困難な問題を考える 女性支援会議(県庁)
					9	・第22期養成講座第11回(長崎県勤労福祉会館)
					16	・第5回自助グループ開催(アルカス佐世保)
					26	・センター運営委員会(第8回～Web会議)
					30	・第22期養成講座第12回・修了式 (長崎県勤労福祉会館)
12月	面接相談 警察関連支援 裁判関連支援 弁護士法律相談付添	7件 3件 4件 5件	6 11	・五島高校定時制講演 ・緑が丘中学校講演	2	・令和6年度全国犯罪被害者等支援実務者会議(Web会議)
					6～7	・令和6年度支援活動責任者研修(東京都)
					10	・県弁護士会犯罪被害者支援研修会(長崎県弁護士会館)
					20	・第6回自助グループ開催(センター)
					24	・センター運営委員会(第9回～Web会議)
1月	面接相談 裁判関連支援 弁護士法律相談付添 その他	3件 4件 3件 1件	28 30	・長崎純心大学講演 ・福島中学校講演	28	・センター運営委員会(第10回～Web会議)
					31	・長崎県遊技業協同組合の社会還元寄付金贈呈式 (ホテルニュー長崎)
2月	面接相談 裁判関連支援 弁護士法律相談付添	7件 4件 6件	3 27	・令和6年度「性暴力被害者支 援に係る医療機関研修会」講 義(県庁) ・佐世保地区犯罪被害者支援 ネットワーク会議講話 (佐世保相浦地区 コミュニティーセンター)	3	・令和6年度「性暴力被害者支援に係る医療機 関研修会」(県庁)
					4	・内閣府「性犯罪被害者等支援体制整備促進事 業」相談員研修(Web開催)
					4	・全国連絡会メンタルヘルス支援部会(Web開催)
					5	・令和6年度第2回長崎県困難な問題を抱える 女性及びDV対策等推進会議(Web会議)
					8～9	・令和6年度質の向上下半期九州・沖縄ブロッ ク研修会(大分市)
					8	・令和6年度九州・沖縄ブロック活動責任者交流会(大分市)
					10	・公益法人・一般移行法人の運営等に関する研 修会及び個別相談会(県庁)
					15	・第7回自助グループ開催(アルカス佐世保)
					25	・県遊技業協同組合へセンター寄付金への感謝状贈呈
					25	・センター運営委員会(第11回～Web会議)
					27	・佐世保地区犯罪被害者支援ネットワーク会議 (相浦地区コミュニティーセンター)
					28	・性犯罪・性暴力被害者のためのワンストップ支 援センター全国ネットワーク会議(Web会議)
					28	・令和6年度 内閣府「性犯罪被害者等支援体 制整備促進事業」センター長・コーディネー ター及び行政職員研修(Web研修)
3月	面接相談 警察関連支援 裁判関連支援 弁護士法律相談付添 その他	5件 1件 4件 2件 1件			2	・継続研修(センター)
					4	・県弁護士会犯罪被害者支援研修会(Web研修)
					4	・公益法人・一般移行法人の運営等(新法)に 関する研修会及び個別相談会(県庁)
					12	・公益法人・一般移行法人の運営等(旧法)に 関する研修会及び個別相談会(県庁)
					14	・第8回自助グループ開催(センター)
					21	・令和6年度 内閣府「性犯罪被害者等支援体 制整備促進事業」「性犯罪・性暴力被害者支 援のための医療関係者向け研修」(Web研修)
					25	・第2回センター理事会(センター)
					25	・センター運営委員会(第12回～文書報告)

犯罪被害者等支援講演会を開催

毎年11月25日から12月1日までの1週間を「犯罪被害者週間」として、犯罪被害者等が置かれている状況や犯罪被害者等の名誉や平穏な生活への配慮の重要性等について、国民の理解を深めることを目的として、期間中の集中的な啓発事業等を実施しています。

令和6年度は、平成15年、当時20歳の次女をインターネットで知り合った相手から殺害されたご遺族の米村州弘さん（熊本県在住）をお招きして講演会を開催し、約120名の参加をいただきました。

開催日時 令和6年11月24日(日) 午後1時30分～午後3時20分

開催場所 ホテルセントヒル長崎

主催者 長崎県警察／公益社団法人長崎犯罪被害者支援センター／長崎県

オープニング

長崎県警察音楽隊

主催者挨拶

遠藤 顕史（長崎県警察本部長）

前田 和明（長崎犯罪被害者支援センター理事長）

閉会挨拶

大安 哲也（長崎県県民生活環境部長）



長崎県警察本部長
遠藤 顕史



長崎犯罪被害者支援センター理事長
前田 和明



長崎県県民生活環境部長
大安 哲也

基調講演

「事件から20年が過ぎて」～変わらない家族の想い～

講師 よねむら くにひろ 米村 州弘 氏（殺人事件被害者遺族）



【講演要約】

私は、これから先パソコンの時代が来ると思い、3人の娘のために1台のパソコンを買いました。

私の次女は智紗都（チーちゃん）といいますが、そのパソコンの文字だけの世界の中で知り合った男に殺害されてしまいました。知り合う

きっかけとなったパソコンを買ってあげなければよかった、娘を殺したのは自分だと今でも強く思っています。

事件の一週間ほど前に「ちょっと困ったことが起こっている」と次女から相談を受けた長女は、チーちゃんがお父さんに言うのは少し待ってくれと言ったことで、私に話さなかった長女もまた大切な妹を殺したのは、お父さんに言わなかった自分なんだとはっきり言いました。また、チーちゃんのインコが事故で死んでしまったのをきっかけに、世話をしていた妻もチーちゃんを殺したのは自分だと言うようになりました。家族4人の中で3人が自分がチーちゃんを殺したと言うのです。そして、3か月以上すると段々と妻が変になっていく、人が壊れていく、頭の中がおかしくなっていくのが分かるんです。それで、私は仕事を辞めました。

加害者は事件から2週間後に捕まり懲役15年の判決を受けました。出所後、娘を殺した犯人を許したくないとの思いから民事訴訟を起こし、賠償金一億円の判決が出ましたが払って貰って

ません。それを新聞が書き立て、見ず知らずの人から誹謗中傷を受け、家族は深く傷つきました。

また、娘が亡くなって2年が経った頃、親友からもう2年も経つんだからと言われましたが、まだ2年なんです。そして殺されて21年、まだたった21年しか経ってない、これが家族が感じていることです。

その後、長女が結婚し孫が誕生しました。とても嬉しかった。しかし、孫を見た途端、涙が出てしまった。チーちゃんが出来ないことが起こるとだめなんです。何でもチーちゃんと結びつけてしまう。事件後21年間で一番辛かったのは孫の誕生です。

ある日、我が家に遊びに来た二人の孫がじゃれ合っている姿を見て、初めて妻が微笑んだんです。私の家族は、事件後8年以上笑ったことがありませんでした。

そして事件から15年ほど経って、妻の気持ちが知りたくて手紙の交換をした時、妻は娘を守れなかった自分が生きていることを罪と書いていました。私は絶句しました。生きていることを罪と思うような人生を歩ませてはいけないと思いました。

皆さんには、文字だけの世界の怖さ、そして信用したらだめだということを周りに伝えて貰いたい、将来に生かして貰いたいです。私は、その瞬間にチーちゃんが生き返ると考えています。

また、警察の方にはお願いします。犯人を捕まえてください。犯人が見つからないままの人たちは、想像も出来ないほど辛く苦しい思いをされていると思います。

犯罪被害者支援キャンペーンを実施

令和6年11月19日(火)アミュプラザ長崎かもめ広場で開催された県警音楽隊コンサート(参集者約300名)において、被害者支援の広報看板・幟旗を掲示し、支援パンフレット等を配布しての広報活動を実施しました。



「心と命の大切さを培う」巡回講演活動

講演活動は中学生や高校生の皆さんに講演を通じて心と命の大切さ、いじめ、暴力のない社会の必要性や犯罪被害者の痛み・実情を学んでいただき、一人一人の人権を大切にする意識を育む目的で開催しています。

令和6年度下半期

開催日	開催校
令和6年 11月15日	長崎県立長崎工業高等学校定時制 (90人)
11月29日	佐世保市立清水中学校 (296人)
12月 6日	長崎県立五島高等学校定時制 (40人)
12月11日	長崎市立緑が丘中学校 (320人)
令和7年 1月30日	松浦市立福島中学校 (73人)



長崎工業高校定時制
講師：前田和明(センター理事長)



清水中学校
講師：中村明夫氏(長崎短期大学准教授)
前川希帆氏(九州文化学園高校教諭)



福島中学校
講師：中村明夫氏(長崎短期大学准教授)
前川希帆氏(九州文化学園高校教諭)

被害者支援員養成講座

修了式

令和6年度の被害者支援員養成講座(第22期)を昨年6月から11月までの間(計12回22講座)開講し、11月30日、13名の方に修了証を交付しました。

犯罪被害者支援活動に必要な法律、心理、相談技術等を学んだ受講生から、犯罪被害者支援に対する理解が深まったとの感想をいただきました。

受講者の声

- ・多くのことを学ぶと共に、被害者等の悲しさ、苦しさ、日常生活への影響及び表現のしよのうのない感情を感じました。
- ・被害者の長期にわたる回復の過程には、多くの困難があることが分かりました。
- ・相談者に寄り添い、相手の立場に立って耳を傾けることのできる相談員になりたいと思います。
- ・終わりが無い問題や悩みを共有し、一緒に考える、地道に粘り強く接することで信頼関係が築けると感じました。
- ・学んだことを活かし、被害者に寄り添い、少しでも力になればと強く感じました。

講座の実施に当たり、講義をいただいた関係支援機関の皆様に、厚くお礼を申し上げます。



性暴力被害者支援に係る医療機関研修会

令和7年2月3日、性暴力被害者の支援に協力頂いている産婦人科医院と県関係機関を対象に被害者支援の状況や連携についての研修会が実施され、関係者58名が参加しました。

開催日時	令和7年2月3日(月) 19:00~21:00
開催場所	長崎県庁3階312会議室(オンライン形式)
主催	長崎県(交通・地域安全課)、長崎県産婦人科医会
協力参加者	長崎県警、(公社)長崎犯罪被害者支援センター
研修会参加者	産婦人科医、看護師、助産師(16医療機関 43名)



1) 開会・ 主催者挨拶	長崎県産婦人科医会 会長 森 一朗 長崎県県民生活環境部 部長 大安 哲也
2) 講話	① 「県警における性暴力被害者支援の状況と医療機関との連携」 講師：県警本部捜査一課 山口課長補佐 県警本部犯罪被害者支援室 大渡係長 捜査第一課からは、性犯罪事件が発生した際の初動対応及び医療機関との連携をどのようにしていくか、流れや注意すべき点などをチャートを示して説明し、連携の強化を呼びかけた。 犯罪被害者支援室からは、警察が行う犯罪被害者支援の制度説明の後、被害者の心情や接する際の留意点など、被害者支援における現場対応について経験を基に説明。 ② 「サポートながさきにおける性暴力被害者支援の状況と医療機関との連携について」 講師：サポートながさき 竹山相談員(主任) 相談・直接支援などの実施状況をグラフで示すとともに、医療支援が必要な場合の連携方法や、被害者とのかわり方について説明。 (質疑応答・意見交換)

犯罪被害者支援を学ぶ講座

令和7年1月28日(火)、長崎純心大学の地域包括支援学科3・4年生128名を対象に、センターの前田理事長が「医療と犯罪被害者支援」のテーマで講義しました。

- ①電話や面接相談業務、弁護士相談、裁判や病院などの付添支援、学校講演などのセンターの活動状況
- ②犯罪被害後のトラウマ反応や生活行動の変化について
- ③被害者等のおかれている現状及び保健医療、福祉、生活などの社会保障制度・法律等の必要性



学生の皆さんからは、

- ・犯罪被害者支援の重要性と具体的な支援体制について深く理解した
 - ・犯罪被害者に対する支援が行き届いていない現状について学んだ
 - ・被害からの回復には、多くの時間や資金だけでなく、理解や支援が欠かせないと思った
- などの感想が寄せられました。

長崎犯罪被害者支援センターの運営を支えてくださる皆様 ～心より感謝申し上げます～

令和6年度 正会員、賛助会員および寄付者一覧表 【令和6年4月1日～令和7年3月31日現在】

※ご芳名掲載を了解して頂いた個人、団体のみを掲載させて頂きました。記載漏れ、誤字脱字の不備がございましたら、お許し下さい。

敬称略・五十音順

〈正会員・団体、個人〉

(医)伴師会愛野記念病院	木下 達夫	(株)チョープロ	星子 浄水	森崎 正幸
天本 俊太	坂谷 朝男	釣船 崇仁	本田 龍一	山口 佳英
飯田 直樹	嶋田 英生	出口 直美	前田 和明	
河井 耕治	塩飽 志郎	永田 吉朗	蒔田 豊	
川添 志	高原 晶	中野 明人	松尾 整子	
北爪 宏明	竹山 和代	長谷川 宏	森 一朗	

〈賛助会員・団体〉

(医)愛健会	川棚地区警察官友の会	(医)創平会	(福)南高愛隣会
あじさい・波多野(税)	(株)橘高	(独)損害保険料率算出機構	(医)康仁会林医院
壱岐地区警察官友の会	九州液化瓦斯福島基地(株)	長崎自賠責損害調査事務所	(株)張本創研
諫早市警察官友の会	(一財)九州電気保安協会長崎支部	(医)保善会田上病院	(株)平安閣
諫早市暴力追放運動推進協議会	(医)協治会	チョーコー醤油(株)	(医)牧山医院
諫早商工会議所	後藤運輸(株)	長崎魚市(株)	松浦地区警察官友の会
(医)栄和会泉川病院	五島市警察官友の会	(一社)長崎県医師会	(株)maruken
(株)ウエノ安全協議会	(一社)五島市交通安全協会	長崎県警友会連合会	(医)佐世保晩翠会村上病院
浦上地区金融機関防犯協会	西部ガス長崎(株)	(一財)長崎県交通安全協会	(株)メモリード
浦上地区職域生活安全協議会	佐世保卸団地協同組合	(一社)長崎県歯科医師会	(医)安永産婦人科
雲仙市警察官友の会	(医)誠愛会佐世保記念病院	長崎船舶装備(株)	吉川建設(株)
大村地区警察官友の会	佐世保市タクシー協会	長崎電気軌道(株)	(有)リサーチ長崎
オックス総合リース(有)	(株)七福商会	長崎放送(株)	(福)緑葉会
(医)おの小児科	島原市警察官友の会	中西総合法律事務所	
(医)医理会柿添病院	(株)親和テクノ	(医)七久会	

〈賛助会員・個人〉

新 辰也	浦 一秀	橘 英雄	町田 正幸	山口 千樹
井石 哲哉	大西 由紀子	中村 冬樹	松尾 紀子	山中 義雄
伊藤 岳	川村 修平	平山 由美子	牟田 幹久	横山 恭子
伊東 健史	佐藤 公泰	淵 澄雄	村上 和代	吉原 博之
今井 悠人	下山 高生	古川 久美	森川 俊一	劉 済昌
岩木 浩	曾場尾 雅宏	本多 真二	八木 義明	

〈寄 付〉

愛育小児科 田中 司	佐世保市警察官友の会	花丘診療所 森川 俊一
赤木 昭彦	三和中央病院 塚崎 稔	淵 澄雄
浅井 隆	白壁外科医院 院長 白壁 勝哉	本多 朗
飯田直樹法律事務所 弁護士 飯田 直樹	千住 博内科 千住 晋	町田 正幸
岩本 茜	(医)友愛会田川療養所	宮下 直樹
(株)エムエスケイ	(一財)長崎県警察職員互助会	宮田 雄吾
江迎地区警察官友の会	長崎市遊技場組合	みやむら女性のクリニック 宮村 泰豪
江良 修	長崎地区警察官友の会	むたクリニック 牟田 幹久
北爪 宏明	永田 吉朗	山口 克彦
佐世保地区防犯協会	にのみや歯科 二宮 秀則	

【募金箱】総額 102,652円 【ホンデリング】総額 22,441円

寄付型支援自販機の設置 募集

自治体、公的機関、民間企業、個人の方の寄付型支援自販機の設置を募集しています。

寄付型支援自販機は、飲料水の売上手数料の一部が犯罪被害に遭われた方々の支援に活用されます。

飲料水の購入者による被害者支援活動と、設置者も社会貢献活動ができる仕組みです。

現在、県内に73台（66箇所）設置しています。設置者の皆様へお礼申し上げます。

支援自販機 設置者ご紹介（順不同 敬称略）（令和7年3月31日現在）

1 学校法人九州文化学園	2 (株)和山	3 (有)オートテイク
4 (株)あたご	5 十八親和銀行佐世保本店営業部	6 十八親和銀行浜田町支店
7 (有)安全タクシー	8 島原鉄道(株)	9 長崎自動車(株)ココウォーク
10 J A 島原雲仙愛野支店選果場	11 松浦市市民運動公園	12 長崎市香焼総合運動公園
13 西そのぎ商工会	14 (株)ネックス	15 (株)富士国際ホテル
16 対馬天和産業(株)	17 下田商事(株)	18 (医)博愛会哲翁病院
19 (株)吉本ハイテック	20 (株)日興防錆鋼業	21 (一社)松浦魚市場協会
22 オートサービスふじい	23 (株)テクノ	24 松浦市星鹿公民館
25 (株)J-POWERビジネスサービス松浦事業所	26 十八親和銀行佐世保支店	27 (株)J-POWERビジネスサービス松島事業所
28 (株)カワハラ住宅産業	29 共立自動車学校	30 小浜食糧(株) 2台
31 九州電力長崎支店	32 壱岐消防署郷ノ浦支署	33 壱岐消防署勝本出張所
34 大坪建設(株)	35 長崎県自動車整備振興会 2台	36 (有)平村自動車
37 (医)壮志会押淵病院	38 ながさき南部生産組合	39 (株)システック井上
40 (有)リッチ	41 西部ガスリアルライフ長崎(株)	42 (株)サンマーチ
43 茶話の里小規模多機能ホーム	44 飛翔館	45 (有)ダイイチ機設工業
46 佐世保卸団地協同組合	47 (株)上五島アンプク	48 春日神社(佐世保市吉井町)
49 長崎県警察本部	50 (一社)島原市医師会	51 長崎県警察武道館
52 島原市役所	53 島原市島原総合運動公園	54 (資)マルイチ線香本舗
55 (医)村上病院	56 長星安全産業(株)	57 満寿美七工区
58 割烹満寿美時津店 3台	59 長与町役場	60 時津町役場 2台
61 (株)Acompany	62 十八親和銀行浜田町ビル	63 西海市大島文化ホール
64 (株)新田鉄工所 2台	65 小嶺工業 2台	66 (社福)コスモス会 グリーンヒルワークス

自動販売機が「募金箱」となって、売上金の一部が犯罪被害者支援活動に活かされます。

三者による協定書（業務委託契約）



センターからのお知らせ

被害者支援員養成講座（第23期）の受講者募集

犯罪被害者等に対する支援活動や広報活動のサポートを行うボランティアを養成する講座を開講します。

- ・ 講座期間 令和7年6月～11月の第2・第4土曜日（時間：13時～16時）
- ・ 開催場所 長崎県勤労福祉会館（長崎市桜町）
- ・ 対象 20歳以上で被害者支援に関心があり、ボランティア活動に意欲がある方
- ・ 人数 15名程度
- ・ 申込期間 4月1日(火)～5月9日(金)
- ・ 問合せ (公社)長崎犯罪被害者支援センター ☎ 095-820-4978

※ 詳細は、当センターホームページをご覧ください。

ご支援のお願い

当センターの活動は皆様の賛助会費やご寄付等によって支えられています。
皆様の温かいご支援・ご協力をお待ちしています。

賛助会員での支援

活動に賛同していただける賛助会員を募集しております。

年会費 個人会員（一口） 3,000円
法人会員（一口） 10,000円

寄付での支援

皆様のご寄付が、被害者支援につながります。

寄付は

郵便口座番号 01730-8-102986

十八親和銀行 大波止支店（普通）4079739

十八親和銀行 北支店（普通）1028158

で随時受け付けております。



自動販売機での支援

売り上げの一部がセンターに寄付されます。寄付型自販機への変更や新規設置先を探しています。

変更、設置費用は無料です。（ご負担は電気代のみ）



募金箱での支援

犯罪被害者支援募金箱を置いていただける施設や企業を募集しております。

現在、県下の事業所、官公署など77箇所にご協力いただいております。



詳細、お問い合わせは

長崎犯罪被害者支援センター事務局 TEL 095-820-4978まで

編集後記

全国犯罪被害者の会（あすの会）、新全国犯罪被害者の会（新あすの会）の代表幹事・岡村 勲さんが本年（令和7年）2月24日亡くなりました。犯罪被害者基本法の成立、被害者参加制度の実現、凶悪事件の時効撤廃や犯罪被害者の権利の確立に生涯を掛けて尽力されました。ご冥福をお祈りいたします。